

# 横浜市福祉サービス第三者評価結果報告書

2016年2月16日

株式会社こどもの森 中山こども園 様

〒 131-0032

所在地 東京都墨田区東向島6-37-4-1002

評価機関名 一般社団法人アクティブ ケア アンド サポート

指定評価機関番号 第11号

電話番号 03-6657-4511

代表者氏名 代表理事 小池一步 印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

事業所名	株式会社こどもの森 中山こども園
報告書作成日	2016年1月21日 (評価に要した期間 6か月)
評価機関	一般社団法人 アクティブ ケア アンド サポート
評価調査員	(神機構-623、横浜市-275)
評価調査員	(神機構-632、横浜市-339)
評価調査員	(神機構-、横浜市-)

## 評価方法

自己評価方法 (実施期間: 2015年 7月23日～2015年10月23日)	評価機関が提供した手引きを参照しながら、園長が作成し、合議の上、自己評価をまとめた。
評価調査員による評価方法 (実施期間: 2016年 1月12日～ 2016年 1月13日)	事前訪問、提出書類、家族アンケート結果並びに訪問調査の結果に基づいて評価調査員が合議し評価結果をまとめ、評価委員会で決定した。
利用者家族アンケート実施方法 (実施期間: 2015年 9月30日～ 2015年10月23日)	こども園から家族へアンケート調査票を配布していただき、記入後評価機関へ直接郵送する方式により回収した(58世帯中46世帯、回収率79%)。
利用者本人調査方法 (実施期間: 2016年 1月12日～ 2016年 1月13日)	訪問調査において、評価調査員が分担してこどもの遊びや生活の様子を観察し、必要に応じ職員や子どもに質問した。

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。  
本報告書のうち、

- 横浜市は定める部分を公表することに同意します。
- 別添えの理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添えの理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

## 全体の評価講評

### 保育園の概要

保育園は、2009年4月1日、株式会社こどもの森(以下、本部という。)が開園し、運営しています。JR横浜線中山駅から歩いて約10分、恩田川を渡り、県道140号線沿いのマンションの1階にあります。定員は60人、2016年1月現在、69人の子どもが在籍しています。保育園の北側に住宅地が広がり、また、公園や農地が多く、散歩コースに恵まれています。「子どもが笑顔であるためには、大人の笑顔が必要」という理念のもと、働く保護者をサポートし、子どもを育てる環境の整備に努めています。園内は、素足、薄着で過ごし、見守る保育を行い、元気でのびのびした子供が育っています。

### 特に良いと思われる点

保育方針について保護者の理解を得よう努めています

保育方針は、「入園のしおり」の最初に明記し、入園面談の際、園長が説明しています。玄関や各クラスに掲示しているほか、園だよりや行事案内にも記載しています。園だよりで、園長が、保育目標の「愛して、褒めて、励まして、認める」という視点から、病気になって初めて知った子どもの優しさと成長の話など心温まるエピソードを紹介しています。行事の後、その行事及び日々の保育についてのアンケートをとり、保育方針についての理解や意見、質問を把握しています。保護者の意見や質問に対する回答は、玄関に掲示しています。今回の利用者家族調査の結果では、基本方針について、保護者の理解を得よう努めていることがうかがえました。

職員の育成のために、内部研修や外部研修、園周り研修を用意しています

職員の育成のため、研修に力を入れています。本部の研修は、新卒職員を始め、2年目、中堅、リーダー、主任、栄養士など、立場に合わせて受講する研修と、気になる子ども研修や衛生研修、運動会その他の行事研修など専門研修を用意しています。園外研修には、横浜市主催の研修があります。これらのほか、園まわり研修があります。外部の専門家の指導を受けながら、傘下の近隣保育園の職員がグループを作り、他の保育園を回り、保育状況を評価する仕組みです。園まわり研修の結果、備品やおもちゃの配置方法、報告書の写真活用など他の保育園の良い事例を取り入れていました。

行事に地域住民を招待したり、地域の祭りなどに参加し、交流を上げています

絵本の読み聞かせやスイカ割り、相撲大会に、地域の人々を招待しています。地域の自治会員として交流会に参加したり、祭りの際、焼きそばやヨーヨー釣りなどの出し物を担当しました。子どもの散歩のときや道路の掃き掃除の時、出会う人への挨拶を基本としています。近所の花屋や、急な怪我などの時世話になっている整骨院の人に、子どもが作った菓子を贈るなど友好的関係を保っています。運動会に近隣の福祉施設のグラウンドを借りたり、小学校や福祉施設の行事に参加しています。いも掘りの際、他の保育園の子どもたちと一緒に遊んでいます。

### さらなる改善が望まれる点

特に配慮を要する子どもの支援体制をさらに整えることが期待されます

集団活動への参加や身の回りの自立が難しいなど、配慮を要する子どもの特性を考慮し、普段と異なる活動を始めるときは、事前に説明しています。良かった行動、良くなかった行動を子どもが分かる言葉で伝えていきます。一緒に行動することが難しいときは、事務室など落ち着ける環境で過ごします。北部地域療育センターなどの関係機関と連携し、支援を行っている一方、連携・支援を受けていないケースもあります。こうしたなかで、職員は様々なことを学習し、工夫と配慮に努め、保育に取り組んでいます。今後、保護者の理解や協力のもと、緑区子ども家庭支援課や本部などの理解と協力を得て、支援体制をさらに整えることが期待されます。

快適な環境とするため、部屋の清掃と声の大きさに気を配っています

室内清掃は、チェックシートで点検しています。クラスは担任が、共用部分はクラスごとに担当箇所を1年間固定で受け持ち、清掃しています。担当を一定期間固定することによって、より清潔になったと見られます。月1回、傘下の他の保育園の職員が来園し、清掃状況を確認しています。早番職員が毎朝全ての窓を開け、空気を入れ替えます。換気扇は常に回しています。温・湿度は、状況に応じ調整しています。日中はカーテンを開け、日当たりよくしています。また、声の大きさに気を配り、適切な大きさを心がけています。今回の利用者家族調査の結果、施設設備について、回答者46人中9人(19.6%)が、「どちらかといえば不満」「不満」と回答していました。今後、さらなる検討、取り組みが期待されます。

外部からの侵入に対して更なる対策が期待されます

玄関扉は、オートロック式で常時施錠し、保護者と職員のみが暗証番号で開錠できます。暗証番号は、3か月ごとに(退園があった場合、その都度)変更し、保護者に直接伝えていきます。不審者マニュアルに沿って、訓練を年1回実施しています。不審者侵入の際、合言葉を使うこととし、必要以上に子どもに恐怖感を与えないよう配慮しています。不審者情報は、緑区子ども家庭支援課から連絡が入り、園長の携帯電話に、区の防犯情報メールが届きます。近隣で発生した場合、近くの保育園などと情報を共有し、保護者に掲示するとともに、直接話しています。今回の利用者家族調査の結果、不審者侵入対策について、回答者46人中6人(13%)が、「どちらかといえば不満」「不満」と回答していました。今後、さらなる検討、取り組みが期待されます。

## 横浜市福祉サービス第三者評価 分類別結果

### 評価領域 I 利用者(子ども本人)の尊重

#### 評価分類 I-1 保育方針の共通理解と保育課程等の作成

##### 評価項目 I-1-(1)

保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのになっており、全職員が理解し、実践しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の理念や基本方針が利用者本人を尊重したのとなっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員が基本方針を理解している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> サービスの実施内容は、保育の基本方針に沿っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

##### 評価項目 I-1-(2)


保育課程は、保育の基本方針に基づき、子どもの最善の利益を第一義にして作成されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は子どもの最善の利益を第一義にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育の基本方針や家庭の状況、地域の実態、周囲の環境を考慮して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程の作成にあたっては、全職員が関わっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育課程は、入園時や年度当初には必ず保護者に説明している。また、改定した時には随時保護者に説明している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

##### 評価項目 I-1-(3)

日常の保育を通して子どもの意見や意思を汲み取る努力をし、指導計画に反映させているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育計画に基づき、年齢ごとに指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理解できる子どもには、必要なことをきちんと説明し、納得できることを大切にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 態度・表情などから子どもの意思を汲み取り、言語化できる子どもからは意見・要望を聞いている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの意見・意思を指導計画の見直しに活かし、子どもの自主性や主体性を育て、発揮できるような指導計画となっており、計画には柔軟性を持たせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類 I-1 評価の理由(コメント)	評価
<p><b>保育理念、保育方針を日々の保育で実践しています</b></p> <p>子どもが笑顔であるためには大人の笑顔が必要という理念のもと、働く保護者をサポートし、子どもが育つための必要な環境を整えるという方針で保育や保護者支援を行っています。ほんの少しでも余裕を持つことができれば、子供は安心し、その安心が子どもの笑顔を生み出すと考え、さまざまな困難な事情を抱えた子どもや保護者にとって、安心できる場所になりたいと職員は日々活動しています。事務室の鏡の側に、「笑顔していますか?」と掲示しています。</p>	
<p><b>保育課程は、子どもの発達過程を踏まえた一貫性のあるものを編成しています</b></p> <p>保育課程は、本部が作成したものをもとに、保育園の保育理念、基本方針、保育目標と照らし合わせ、検討し、子どもの発達過程を踏まえた一貫性のある保育課程を編成しています。毎年度末に、職員で読み合わせ、見直しています。これまで、変更したことはありません。状況の変化には、次年度の年間保育計画の検討、見直しで対応しています。保護者には、入園時の面談の際に説明し、いつでも閲覧できるよう常備しています。</p>	
<p><b>指導計画には子どもの意見や提案を反映するよう努めています</b></p> <p>保育課程に基づき、年齢別に年間指導計画、月間指導計画、週案を作成します。0、1、2歳児と特別に配慮の必要な子どもには、個別指導計画を作成します。例えば、見つけた缶で子どもが缶けりを始めるなど、子どもの意見や提案を反映しています。近所の農家で、かぶを収穫したときは、事前に、職員が胸当て式のエプロンを舞台にして、「おおきなかぶ」の劇を演じました。子どもは、事前にかぶについての理解を深め、収穫への期待を大きく膨らませるなど、活動がより楽しいものとなりました。</p>	

## 評価分類 I-2 子どもの発達や状況に応じた適切な援助の実施

### 評価項目 I-2-(1)

入園前や入園後すぐに子どもの発達状況や課題を把握しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に面接している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの様子をよく観察している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園までの生育歴や家庭での状況を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 面接時に把握された記録は、日々の保育に活かされている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-2-(2)

新入園児受け入れ時の配慮を十分しているか。


判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 短縮保育(ならし保育)が必要な場合は保護者への説明を十分している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 0、1歳の新入園児に対しては個別に主担当保育者が決まっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが心理的拠り所とする物の持ち込みができる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性の視点から、保護者へのていねいな連絡をノートでしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 在園児への配慮がなされている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-2-(3)

子どもの発達や状況に応じて指導計画を作成しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの発達や状況に応じて指導計画の作成・評価・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、複数の職員が参画して作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 評価、改訂にあたっては、保護者の意向も反映している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価分類 I-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p><b>入園面談を行い、子どもと保護者の状況を把握し、日々の保育に活用しています</b></p> <p>入園前に面談を行い、保育園について説明するとともに、子どもと保護者の状況を聞き、把握しています。事前に、児童票、面接チェックリストなどを渡し、記入してもらい、面談時に確認しています。食事や午睡などの項目は重点的に確認します。面談には、子どもにも来てもらい、遊びの様子や特徴、保護者との関わり方などを観察します。確認したことや観察したことは、面接チェックリストに記入し、新年度ミーティングで職員が共有しています。児童票、面接チェックリストなどは、個人ファイルに収納し、いつでも確認することができ、また、日々の保育に活用しています。</p>	
<p><b>新入園児を受け入れる際は、家庭生活からの連続性に配慮しています</b></p> <p>環境の変化が子どもと保護者の負担にならないよう配慮しています。慣らし保育を行っていますが、保護者の状況によって柔軟に対応しています。子どもが安心できる物の持ち込みを声かけすることもあり、無理なく保育園生活が始められるよう配慮しています。0、1、2歳児は、担任が個別指導計画を立てています。食事や排泄処理など担任が行い、信頼関係を築けるような援助をしています。その日の子どもの様子は、複写式連絡ノートに記入したり、迎えのときに話をして伝えています。新入園児は、朝の会で入園式を行い、在園児との顔合わせを行っています。</p>	
<p><b>月間指導計画は、前月の指導計画を自己評価し、子供の姿を振り返り、作成しています</b></p> <p>月間指導計画は、クラス担当が原案を作成し、主任を交えたクラス会議で、前月の指導計画に対する自己評価、子どもの様子をしっかりと振り返り、作成しています。子どもの発達や健康面、家庭状況の変化などをとらえ、柔軟に見直しています。指導計画の作成、見直しは、全体ミーティングで職員へ報告し、共有しています。トイレトレーニングなど保護者から個別の意見や要望があった場合、子どもの発達状況などを説明したうえで、要望を取り入れるなどの対応をしています。</p>	

## 評価分類 I-3 快適な施設環境の確保

### 評価項目 I-3-(1)

子どもが快適に過ごせるような環境(清潔さ、採光、換気、照明等)への配慮がなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園の屋内・外とも、常に清潔に保たれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通風・換気等が確保され、気になる臭いを取り除く工夫をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 施設内の温・湿度の管理が日々適切に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 陽光を十分取り入れるよう配慮している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 音楽や保育者の声などが騒音にならないよう、配慮している。		
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-3-(2)

沐浴設備、温水シャワーなど体を清潔にできる設備があるか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴設備がある(ただし、0歳児保育実施施設)	
	<input checked="" type="checkbox"/> 温水シャワーの設備がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 沐浴・温水シャワー等の設備の管理や清掃が十分に行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目 I-3-(3)

子どもの発達に応じた環境が確保されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 低年齢児には、小集団保育が行われるよう、保育室の使い方を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食べる・寝るなどの機能別の空間を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 屋内に異年齢児間の交流の場がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価分類 I-3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>清掃や声の大きさなど快適な環境を保つよう努めています</p> <p>清掃はチェックシートを用いて行っており、各クラスは担任、共用部分は各クラスごとに担当箇所を1年固定で実施しています。担当を一定期間固定することで、より清潔になりました。月1回系列園の職員が来て清掃状況を確認する環境整備点検を行っています。早番職員は毎朝全室の窓を開け、空気の入替えを行っています。室内の換気扇は常に回しており、温・湿度は、状況に応じ調整しています。日中はカーテンを開け、日当たりをよくしています。声の大きさに気を配り、適切な大きさになるよう互いに声かけをしています。施設設備について、今回の利用者家族調査で、2割弱が満足していない回答となっています。</p>	  
<p>沐浴設備を備え、温水シャワーで体を清潔に保つことができます</p> <p>0歳児の部屋に沐浴設備を設置し、温水シャワーを使うことができます。夏場に汗をかいたときや尻が荒れたり、下痢をしているときなどに使用し、清潔を保っています。使用する際は、湯水の温度に注意を払っています。使用した後は、その都度清掃、消毒しているほか、毎日、最後に清掃を行い、日誌にチェックを入れています。</p>	
<p>子どもの発達や興味を観察し、部屋の使い方を工夫したり、玩具などを用意しています</p> <p>子どもの様子を観察し、部屋の使い方を分けたり、月齢や興味に合ったおもちゃを準備したりしています。低い机やマット、棚などを利用し、ままごと、絵本、ブロックや電車などで遊べるコーナーを作っています。0歳児の部屋は、2つのスペースに分け、発達状況や遊びの様子で使い分けていました。食事や午睡は、各クラスで場所を分けています。異年齢児の交流は、朝夕の合同保育の時間や戸外活動など多くの場を作り、実施しています。</p>	



## 評価分類 I-4 一人ひとりの子どもに個別に対応する努力

### 評価項目 I-4-(1)

子ども一人一人の状況に応じて保育目標を設定し、それに応じた個別指導計画を作成しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 0~1歳児については、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 幼児についても、特別な課題がある場合には、個別指導計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別の目標・計画は定期的(月1回を目安)に見直すのみでなく、子どもの発達状況に合わせ、柔軟に変更・見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別指導計画の作成・見直しにおいて、重要部分を保護者に説明し、同意を得ている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-4-(2)

子ども一人一人の発達の過程に応じた対応をし、その記録があるか

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや家庭の個別の状況・要望を決められた書式に記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園後の子どもの成長発達記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの記録内容は全職員が共有できるしくみになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な申し送り事項が記録され、進級時等に伝達されている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 保育所児童保育要録を小学校に送付している。その上で、Aの中で2つ以上に該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する。または、該当しない。	

### 評価分類 I-4 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>指導計画を作成し、子どもの発達に応じた援助、配慮をしています</p> <p>0、1、2歳児は、個別指導計画を作成しています。食事の進め方やトイレトレーニング、子ども同士の関わり方など、子どもの発達状況に応じ、子どもの気持ちを大切にしながら、個別に進めるよう配慮しています。3、4、5歳児でも、集団生活を行う上で配慮の必要な子どもには、個別指導計画を立てています。個別指導計画は、前月を振り返りながら毎月作成しています。作成に当たっては、保護者と相談したり、日々の送迎時に話をすることで、保護者の意見をくみ取るなど保護者と連携をとって無理のない計画を立てています。</p>	  
<p>子ども一人一人の記録は個人ファイルに収納し、職員全員が共有しています</p> <p>家族状況を始め、緊急連絡先、既往症、予防接種、かかりつけ医、血液型などを記載した児童票、入園以降の子どもの成長発達を記載した経過記録、児童健康台帳、保護者との面談記録など子ども一人一人に関わる記録は、個人ファイルに収納しています。個人ファイルは、事務室の鍵付き書棚に保管し、職員はいつでも見ることができます。卒園する子どもの保育所児童保育要録は、1月から2月にかけて作成し、進学する小学校へ郵送または直接届けています。</p>	

## 評価分類 I-5 保育上、特に配慮を要する子どもへの取り組み

### 評価項目 I-5-(1)

特に配慮を要する子どもを受け入れ、保育する上で必要な情報が職員間で共有化されているか。

判断基準		評価
A	Bに該当した上で、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 個別のケースについて会議で話し合わせ、記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 最新の情報を職員間で学習し、保育に活かしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 共有する情報は記録され、いつでも確認できるようファイリングされている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 特に配慮を要する子どもを積極的に受け入れる姿勢がある。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目 I-5-(2)

障害児保育のための環境整備、保育内容の配慮を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> バリアフリーなど、障害児保育のための環境整備に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の同意を得て、医療機関や専門機関から助言や情報が得られる体制をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害の特性を考慮した個別指導計画が立てられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児保育について全職員で学習し、話し合える体制ができています。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 障害児と障害のない子どもとの関わりに配慮をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-5-(3) ※旧 II-3-(4)から移動

虐待を疑われる子どもの早期発見と適切な対応を心がけているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待の定義が全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 虐待が明白になった場合に、関係機関に迅速に通告・相談する体制を整えている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 疑わしい場合や見守りが必要な場合は関係機関との連携をとっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 家庭支援の必要な保護者を援助し、虐待の予防に配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-5-(4)




アレルギー疾患のある子どもへの適切な対応ができていますか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものかかりつけ医の指示を受け、適切な対応を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 全職員にアレルギー疾患についての必要な知識や情報が周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食物アレルギーにおいては、保護者との連携を密にし、 <b>除去食</b> を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> <b>除去食</b> を提供する場合は、誤食事故を防止するため専用トレイや専用食器、名札等を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目 I-5-(5)

外国籍や帰国子女など、文化の異なる子どもに対して適切な配慮がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化(言語・表現・食事)や生活習慣、考え方の違いを認め尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 文化や生活習慣の違いを他の子どもたちが理解できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 意思疎通が困難な場合の対応策がある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類 I-5 評価の理由(コメント)	評価
<p>特に配慮を要する子どもの特性を考慮し、可能な範囲で対応に努めています</p> <p>子どもの特性を考慮し、新しいことをする時やいつもと違う活動を行う場合は、事前に説明しています。良かったことや良くなかったことを、子どもが分かる言葉で伝えていきます。一緒に行動することが難しい場合は、事務室など落ち着ける環境で過ごしています。保護者の同意を得て、北部地域療育センター職員に保育園における様子を観察してもらいアドバイスをもらったり、同センターでの研修に参加しています。配慮を要する子どもに、職員は様々な努力をして取り組んでいます。保護者、緑区こども家庭支援課、本部の理解と協力を得て、例えば、専任職員の配置など支援体制のさらなる充実が期待されます。</p>	
<p>保護者が話しやすい関係を築くなど、虐待の早期発見、虐待防止に取り組んでいます</p> <p>虐待対応マニュアルを備え、職員全員に周知しています。家族対応や虐待に関する研修を受講し、また、園内研修も実施しています。疑われる場合や明白になった場合 主任・園長に報告し、本部を通して、緑区こども家庭支援課や横浜市北部児童相談所などの関係諸機関へ通報します。連絡体制や連絡先を事務室に掲示しています。家庭環境に変化が見られる場合など、登降園時に声かけをするなどの配慮を行っています。普段から保護者が話しやすい関係作りに努めています。</p>	  
<p>アレルギー疾患を持つ子どもへ適切な対応に努め、また、誤食の予防に取り組んでいます</p> <p>かかりつけ医から、「アレルギー疾患生活管理指導表」を提出してもらい、それに従って対応しています。アレルギー疾患を持つ子どものファイルを作成し、アレルギーの種類、既往症、保育園での留意点などを職員全員が確認できるようにしています。食物アレルギーを持つ子どもには、専用の献立を作成し、除去食を提供しています。誤食を予防するため、専用のトレイを使用するとともに、食器に名前入りのフードカバーをかけ、また、給食室に受け取りに行ったとき、子どもに手渡すとき、それぞれ声かけをするなど複数の職員で確認し、提供しています。</p>	



## 評価分類 I-6 苦情解決体制

### 評価項目 I-6-(1)




保護者がサービスについての要望や苦情を訴えやすい仕組みになっているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	第三者委員に、直接苦情を申し立てることができる。	
<input checked="" type="checkbox"/>	保護者に対して、意見箱・懇談会・アンケート等で進んで要望や苦情を聞いている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	自分で意見を表明するのが困難な園児や保護者に対して具体的な配慮がなされている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	権利擁護機関など他機関の苦情解決窓口を紹介している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望・苦情を受け付ける担当者が決まっており、事前に保護者に説明されている。	
C	要望・苦情の受付窓口が明確にされていないなど、取り組みが不十分である。	

### 評価項目 I-6-(2)

要望や苦情等を受けて、迅速に対応できる仕組みになっているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	第三者委員を交えて対応する仕組みができています。	
<input checked="" type="checkbox"/>	園単独で解決困難な場合には、外部の権利擁護機関や相談機関との連携体制がとられている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	要望や苦情の解決策が会議等を通じて職員に理解・周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 過去の苦情・トラブルや要望のデータを蓄積・整理し、解決に活かしている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 要望や苦情を受け付け対応するためのマニュアル等文書化されたものが整備されている。	
C	マニュアル等文書化されたものが整備されておらず取り組みが不十分である。	

評価分類 I-6 評価の理由(コメント)		評価
<p><b>苦情・要望に関わる体制を重要事項説明書に記載し、登降園時にも受け付けています</b></p> <p>保護者に配布する重要事項説明書に苦情・要望に対する相談窓口を記載し、玄関にも掲示しています。保育園での苦情の受付は主任が行い、園長が苦情解決責任者となっています。また、本部事務局の苦情受付連絡先の電話番号も記載しています。日々の苦情・要望・相談は、朝夕の登降園時に聞くよう心がけ、また、行事後のアンケートや本部の保護者アンケートによって把握しています。緑区こども家庭支援課や横浜市北部児童相談所など外部の連絡先を掲示しています。</p>		  
<p><b>要望や苦情に対応するためのマニュアルがあり、情報を共有しています</b></p> <p>要望や苦情に迅速に対応するため、「苦情解決に関する規定」を定めています。保育園内で解決できない場合、本部に相談したり、区や市の関係機関に相談できる体制を整えています。要望や苦情の解決策は、月例の職員会議で伝えています。申し出があった苦情やトラブルは、苦情簿に記載し、職員会議で原因を分析し、以後の課題としています。また、他の保育園での苦情やトラブルの事例は、職員会議で話し合い、情報を共有するとともに、保育園で起こさないよう注意しています。</p>		

## 評価領域Ⅱ サービスの実施内容

### 評価分類Ⅱ-1 保育内容〔遊び〕

#### 評価項目Ⅱ-1-1(1)

子どもが主体的に活動できる環境構成(おもちゃ・絵本、教材、落ち着いて遊べるスペースなど)ができているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがおもちゃや教材等を自分で取り出して遊べるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年齢や発達にふさわしい環境構成に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ落ち着いて遊べる環境を確保している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分の好きなことをして遊び込める時間が十分に確保されている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

#### 評価項目Ⅱ-1-1(2)

遊びが一斉活動に偏らないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの自由な発想を受け止め、それを集団活動に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもがそれぞれ自由にごっこ遊びをしたり、落ち着いて一人で遊んだりしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 一斉活動は、みんなで一緒に遊ぶ楽しさとともに、友だち関係やルールを守る等の社会性を重視して、年齢に応じた取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 自由遊びの中で一人ひとりが興味・関心を持って遊べるよう、保育士が援助している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

#### 評価項目Ⅱ-1-1(3)

動植物の飼育や栽培・園外活動など、自然に触れたり地域や社会に関わる体験が取り入れられているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 栽培や飼育を通して得られる体験を、保育活動にフィードバックしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもたちが散歩等で、日常的に地域の大人や子どもたちと挨拶・会話を交わしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外活動で地域を知り、自然に触れる機会を積極的に設けている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

#### 評価項目Ⅱ-1-1(4)

子どもが歌やリズム、絵や文字、からだを動かすなどの体験を通して、自分の気持ちを自由に表現できるよう配慮されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの年齢や発達状況にあわせて自由に表現できるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自発的に表現するよう様々な素材を用意するなど、自由に使えるよう配慮されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自由に歌ったり、絵を描いたりしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

#### 評価項目Ⅱ-1-1(5)





遊びを通して子ども同士の関係や保育士との関係が育つよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子ども同士のけんか等については、危険のないよう見守りながら、子ども同士で解決ができるよう援助している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異年齢の子ども同士が関わりを持てるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員は、常に公平で温かい態度・言葉遣い等で子どもに接し、信頼関係を築いている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

#### 評価項目Ⅱ-1-1(6)

積極的な健康増進の工夫が遊びの中でなされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを積極的に取り入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 散歩や屋外活動などを行う際には、紫外線対策やアレルギーへの対処を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 発達段階に応じて、運動能力を高められるような遊びの環境を意識してつづけている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの既往歴や健康状態に合わせた遊びを工夫している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1 [遊び] 評価の理由(コメント)	評価
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(1) [遊び]</p>	
<p>子どもが主体的に遊ぶ場所や玩具を選べる環境を作っています</p> <p>コーナー保育を取り入れ、自分の遊びたい物で自由に遊べる環境を作っています。子どもの興味や発達に合わせ玩具を入れ替えています。玩具は、種類を細かく分けて収納し、写真を貼るなど取り出しやすく片付けやすい工夫をしています。0歳児の部屋は、歩行を楽しめる空間とハイハイなどを楽しめる空間に分け、玩具もそれに応じて用意しています。子どもの様子を観察しながら、職員が場所を移すなど細やかに配慮していました。遊びに集中したい子ども、友達とたくさん関わりたい子どもなど遊びに合わせ、部屋や場所を使い分け、それぞれが遊び込める環境を作っています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(2) [遊び]</p>	
<p>子どもの気づきや自由な発想を受け止め、遊びが発展するよう配慮しています</p> <p>子どもの自由な発想を受け止め、活動に取り入れています。3歳児クラスでは、画用紙を何枚も貼り合わせた大きな紙に描いたサツマイモの絵が何枚も飾られていました。それぞれが個性的な絵でした。散歩の時のおならの話からさつまいも掘りの話につながり、「おおきなおおきなおいも」の絵本を出すと、子どもは面白がり紙を好きなだけ使ったサツマイモの制作に発展させました。1歳児クラスでは、雨が降った時「でんしゃみたい」という子どものつぶやきを、バスタオルを使った電車遊びに展開しました。幼児クラスでは、言い合いや主張を納得いくまでできるよう介入をせず見守り、友だち同士で遊びが発展するよう配慮しています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(3) [遊び]</p>	
<p>栽培や飼育を通して、収穫の喜びや命の大切さを体験しています</p> <p>3歳児が小かぶ、4歳児が赤しそ、5歳児が枝豆をそれぞれ種まきから収穫まで栽培し、自分たちで調理して昼食やおやつで食べました。赤しそと酢を使ったジュースを作り、酢を入れたときの色の変化を観察しました。幼児だけでなく、乳児も年越しうどん作りやふりかけ作り、板摺りを体験しました。食材に触れることを通して、食への興味や食べ物を大切にすることを育てています。2014年、名前を付けて飼育していた金魚が病気にかかって死んだとき、生死を理解しようとする気持ちを感じました。近くの農園で、芋ほりや苺狩り、柿もぎなども体験しています。また、田圃の畔道や隣の駅まで歩き、自然に触れています。</p>	  
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(4) [遊び]</p>	
<p>子どもが、自由にのびのび表現できる環境を整えています</p> <p>朝の会が始まる前、幼児クラスで音楽に合わせてリズム体操を行っています。登園した子どもは、持ち物や外服の整理が終わると加わって体を動かします。2歳児も加わりまねています。皆が生き生きと体を動かしています。幼児クラスは、はさみやのり、色鉛筆などを自由に使うことができます。絵描きも自由遊びで好きな時に楽しむことができます。2歳児クラスも、玩具の写真を貼った収納場所から自由に取り出して使うことができます。片付けもやすく、良い習慣を身に付けています。子どもの作品を室内に掲示し、降園時、保護者が一緒に見られるよう工夫しています。散歩中、一人の子どもが口ずさんだ歌を皆で歌っていました。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(5) [遊び]</p>	
<p>子ども同士の関係が育つよう見守り、また、異年齢で交流する時間を設けています</p> <p>子ども同士が関わる中で生じるけんかなどに、できるだけ介入を控え、主張を互いが納得できるまで見守り、子ども自身で解決するよう気を配っています。けんかなどの原因は、しっかり捉えるよう努めています。乳児で動きが激しい子どもには、制止できる距離を保ちながら様子を見守ります。朝夕は合同保育を行い、2クラス合同で散歩に出かけるなど、異年齢交流を行っています。子どもへの接し方について、本部の「子どもに対する方針」をもとに、園内研修を行っているほか、その方針を掲示し、職員は確認しています。訪問調査の日、散歩で子どもが動かなくなった時、職員が子どもの目線に合わせ、気持ちをくみ取る声かけや興味を引く話をするなどの対応をしています。</p>	
<p align="center">評価項目Ⅱ-1-1(6) [遊び]</p>	
<p>戸外活動中心のカリキュラムを組み、健康づくりに取り組んでいます</p> <p>保育園内では裸足、薄着で過ごし、健康な体を目指しています。全てのクラスで、戸外活動中心のカリキュラムを組みんでいます。午前の活動時間だけでなく、午後の自由活動時間も天気の良い日は、幼児は園庭で、乳児はテラスに出るなど、外気にふれて遊ぶよう工夫しています。夏期、園庭にテントを常設し、強い陽ざしを避けて遊べるよう配慮しています。5歳児クラスで跳び箱を自由遊びの時間にもできるようにしたところ、夏前は2段を跳ぶのがやっとだった子どもが秋には4段を跳べるようになっていました。</p>	

## 評価分類Ⅱ-1 保育内容〔生活〕

### 評価項目Ⅱ-1-(7)

食事を豊かに楽しむ工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士が、子どもの負担になるほどに残さず食べることを強制したり、偏食を直そうと叱ったりしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳児の授乳にあたっては、ほしがる時に、抱っこして声をかけながら与えるようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 授乳する時や離乳食を食べさせる時は、子どものペースを尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもが自分から食べようとする意欲や行動を大切にしながら、適切な言葉かけや援助をしている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。対象乳児がいない場合は2つは該当する。	
C	Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。対象乳児がいない場合は、全くおこなっていない。	

### 評価項目Ⅱ-1-(8)

食事の場、食材、食器等に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある献立や食欲がわくような盛りつけなどの食事作りに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食事の場としての雰囲気づくりに配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食材や食器の安全性に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの成長・発達や用途に即した食器を使用している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-1-(9)

子どもの喫食状況を把握して、献立の作成・調理の工夫に活かしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの好き嫌いを把握し、盛り付けや調理方法を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 栄養士や調理担当者が、子どもたちの食事の様子を見る機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 残食を調査記録し、献立・調理の工夫に反映させている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目Ⅱ-1-(10)

子どもの食生活について、家庭と連携しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立表を作成し、事前に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 献立作成のポイントを明記した情報提供を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 定期的レシピを提示し、保護者に園で提供する食事に対する関心を促している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が試食できる機会等を設けて、栄養・味付け・食べ方(噛み方)等、園で配慮していることを知らせている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-1-(11)




午睡・休息は発達や日々の子どもの状況に応じて対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 眠れない子ども、眠くない子どもには午睡を強要せず、静かに過ごさせるなど柔軟な対応をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 安心して心地よい眠りにつけるよう、午睡・休息の場を工夫している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 乳幼児突然死症候群に対する対策を行っている	
	<input checked="" type="checkbox"/> 年長児には適当な時期から午睡を一斉活動としていない。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-1-(12)

排泄は個人差があることを十分に配慮して対応しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの排泄のリズムをとらえ、個人差を尊重している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> トイレトレーニングは一人ひとりの発達状況に応じて個別に対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園での排泄状況を保護者に伝え連携を密にしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅱ-1 [生活] 評価の理由(コメント)	評価
<p>評価項目Ⅱ-1-(7) [生活]</p> <p>子ども全員でうどん作りをするなど食事を豊かに楽しむ工夫をこらしています                      食事は、子どもが食べられる量を提供しています。ミルクや離乳食は同じ職員が与え、子どもの気持ちに合わせながら援助しています。クッキングやお手伝いなど、食事の過程に携わる経験ができるよう工夫しています。「中山うどん作り」が大人気で、4、5歳児が生地を作り、3歳児以下の子どもは生地を足踏みします。小麦粉に塩水を加えた時の変化、足踏みしたときの感触、薄力粉、中力粉、強力粉のモチモチ感の違いなども体験しています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(8) [生活]</p> <p>行事食を取り入れたり職員全員が子どもと一緒に食事するなど、楽しい食事となるよう工夫しています                      季節の行事に親しめるよう行事食を献立に取り入れています。10月はハロウィンで、カボチャ型サフランライスとハロウィンマトシチューを提供しました。園長を始め、職員全員が子どもと一緒に食事をとり、楽しみながら子どもの様子を観察しています。食材は、新鮮な物を専門業者に届けてもらい、安全性を考慮して産地を指定したり、魚は骨抜きで発注しています。食器は、高強度磁器製や陶器製を使用し、年齢に応じ、茶碗の大きさやスプーン・フォークの形、トレーを変えています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(9) [生活]</p> <p>子どもの喫食状況を把握し、調理や献立を工夫しています                      栄養士は、子どもと一緒に食事をとり、好き嫌いを把握しています。また、離乳食や乳児食の援助にも携わり、咀嚼・嚥下の様子を観察し、食事作りに生かしています。昼ミーティングや月1回の栄養士・主任会議で各クラスの昼食の様子を聞いています。出汁をしっかりと、薄味でも旨味が感じられるよう工夫しています。残食状況を把握して切る大きさを変えたり、完食したメニューは翌月以降の献立に再度組み込むなど、調理や献立に生かしています。残食が多かった日は、クラス担任に理由を確認しています。日々の子ども数に応じて調理する量を変え、残食が増えないよう気を配っています。</p>	
<p>評価項目Ⅱ-1-(10) [生活]</p> <p>保護者と連携し、子どもの食生活が豊かになるよう取り組んでいます                      毎月園だよりで、給食の献立、離乳食のメニューを保護者に知らせています。食物アレルギーを持つ子どもには、専用の献立を作成しています。給食便りや献立に、本年度の取り組み、行事食、ポイントとなるメニューとレシピ、旬の野菜の情報などを掲載しています。毎日の献立は、見本食を玄関に展示しています。また、好評だったレシピなどを持ち帰れるよう備えています。登・降園時、栄養士が子どもの咀嚼や好き嫌いの克服の方法などを保護者に話しています。保育参加の日、保護者は子どもと一緒に給食を食べ、マナーや食材の話の聞いたり、食事に関するクイズに参加しています。</p>	 A  
<p>評価項目Ⅱ-1-(11) [生活]</p> <p>午睡は、子どもの発達や状況に応じ、保護者と相談しながら柔軟に対応しています                      寝つけずにいる子どもには身体を触って睡眠を促したり、職員のそばで横になり体を休めています。午睡時間、カーテンを閉め、オルゴールやCD音楽などを静かに流しています。顔色が見えるよう明るさを調整し、0、1歳児は5分間隔でSIDS(乳幼児突然死症候群)チェックを行い、予防に取り組んでいます。0歳児には、心拍確認装置を使用し、心拍の状態も把握できるようにしています。年長児に限らず、体力がつき午睡を必要としなくなった子どもは、保護者と相談し、午睡時間を短くしたり、自由遊びをして過ごしています。自由遊びは、室内と戸外を選択できるよう配慮しています。</p>	



トイレトレーニングは子どもの発達状況に応じて保護者と相談しながら進めています

一日の生活の中でトイレを促すことはありますが、一人一人の排泄リズムに合った対応を基本としています。トイレトレーニングは、トイレに興味を持ち始めたり、着脱が自分でできるようになったタイミングで保護者に声をかけ、相談しながら進めています。トレーニングの開始時期に、「トイレトレーニングの進め方」を保護者に配り、叱らずに進めるという共通意識を持てるよう配慮しています。0、1、2歳児は連絡ノートにその日の排泄の様子を記載したり、保護者の声をかけ、伝えています。

## 評価分類Ⅱ-2 健康管理・衛生管理・安全管理

### [健康管理]

評価項目Ⅱ-2-(1)

子どもの健康管理は、適切に実施されているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの健康管理に関するマニュアルがあり、それに基づき一人ひとりの健康状態を把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 既往症について常に保護者から情報を得られるように努め、対応を関係する職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて園での子どもの健康状態を保護者に伝え、降園後の対応について話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 食後の歯磨き指導を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(2)

健康診断・歯科健診の結果を保育に反映させているか。


判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの健康診断・歯科健診の記録がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健康診断・歯科健診の結果を保護者に伝え、連携を密にしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 健診結果に基づき、嘱託医やかかりつけ医との連携を図っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(3)

感染症等への対応に関するマニュアルがあり、保護者にも徹底しているか。

判断基準		評価
	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 登園停止基準や保育中に感染症等の疑いが生じた場合の対応がマニュアルに明記され、保護者に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育中に発症した時は、保護者への連絡をすみやかにし、対応については保護者の事情も考慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症が発生した時は、速やかに保護者に情報提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症に関する最新情報を職員が共有している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 感染症等への対応に関するマニュアルがある。	
C	感染症等への対応に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

### 評価分類Ⅱ-2 [健康管理] 評価の理由(コメント)




評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの健康状態を把握し、適切な対応に努めています</p> <p>子ども一人一人に健康台帳を用意し、健康状態を把握しています。既往症は入園時に確認し、入園後得た情報を健康台帳に記載しています。アレルギー・ぜんそく・けいれん・てんかんなどの対処法について、職員はミーティングなどで確認しています。また、保育室に対処法を掲示しています。発熱やいつもと様子が違うとき、37.5℃を目安に保護者に連絡しています。38.5℃以上の発熱した時は、「お熱チェックシート」に細かい様子と対応を記入し、コピーを手渡します。食後の歯磨きは、2歳後半から職員が行っています。絵本や紙芝居で、歯や歯みがきの大切さを伝えています。</p>	
<p>定期的に健康診断、歯科健診を実施し健康状態を把握しています</p> <p>健康診断は、年2回、5月と11月に行い、結果を健康台帳に記載しています。歯科健診は、年1回、6月に実施し、結果は歯科健康診査表に記載しています。保護者には、「健康診断の結果」と「歯科健康診断結果のお知らせ」を配付しています。歯科健診の結果、経過観察が必要な場合、降園時、保護者に診断名とどのような状態であるかを直接説明しています。健康診断、歯科健診を受けなかった子どもの保護者に、「健診のお願い」を配付し、嘱託医で受診するよう勧めしています。</p>	
<p>感染症などへの対応について保護者に知らせ職員にも周知しています</p> <p>登園停止の病名は、入園のしおりに記載し、入園面談時に説明しています。保育中に感染症の疑いが生じた場合、保護者へ連絡し、静養とまん延を防ぐため事務室で保護者の迎えを待ちます。感染症が発生した場合、玄関に感染症名と説明、発症人数を掲示し、併せて、メール連絡網で知らせています。最新情報は、横浜市からのFAX通信をもとに、保護者向けに掲示し、職員も共有しています。ウイルス対応マニュアルを備え、ミーティングや職員会議などで確認しています。各クラスに、分かりやすい対応図を掲示しています。嘔吐処理セット(新聞紙、ゴム手袋、ビニールエプロン、足カバー、消毒液用容器、ペーパータオル、ティッシュ、ビニール袋)を各クラスに備え、迅速に対処できるよう準備しています。</p>	

[衛生管理]

評価項目Ⅱ-2-(4)

衛生管理が適切に行われているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、職員参加により定期的(内容により異なるが、最低年1回を目安)に見直しを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルの内容を全職員が共有するため、定期的(採用時に1回、採用後は最低年1回)に研修を実施するなど、具体策を講じている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルに基づき清掃等が行われ、清潔・適切な状態が保たれている。	
C	<input type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがある。	
	<input type="checkbox"/> 衛生管理に関するマニュアルがなく、取り組みが不十分である。	

評価分類Ⅱ-2 [衛生管理] 評価の理由(コメント)	評価
衛生管理マニュアルを定期的に見直し、適切な衛生管理を行っています	
衛生管理マニュアルを備え、職員採用時に園長が説明しています。年度末のリーダー会議で見直し、研修などで得た最新情報を盛り込み、新年度ミーティングで職員全員に周知しています。年間保健計画を年度ごとに立案しています。環境整備の一環として、園内清掃を行い、場所ごとにチェック表を作成しています。毎月、害虫駆除を行っています。乳児の玩具は、毎日消毒し、ぬいぐるみは土曜日に洗濯、天日干しします。子どもの食事用エプロンは保育園で用意し、使用后洗って、殺菌庫で熱風消毒(85℃以上、90分間)を行っています。	  

**[安全管理]**

評価項目Ⅱ-2-(5)

安全管理に関するマニュアルがあり、事故や災害に備えた安全対策が実施されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 地震等を想定し、備品等の転倒防止など安全対策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> マニュアルは、事故や災害に適切に対応しており、全職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 緊急連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 通報や連絡体制の予行演習、地域の避難場所等への誘導などの訓練を実施している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 職員が救急救命法を身につけている。		
B	安全管理に関するマニュアルがあり、Aの中で3つ以上該当する。	
C	安全管理に関するマニュアルがない。または、Aの中で1~2つ該当する、または全く行っていない。	

評価項目Ⅱ-2-(6)

事故や怪我の発生時及び事後の対応体制が確立しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者や救急機関、地域への連絡体制が確立している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どものケガについては、軽傷であっても必ず保護者に状況を報告し、記録している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員会議などで事故の報告、再発防止策の検討が行われ改善策が実行されている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅱ-2-(7)

外部からの侵入に対する対応策が整備されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等の侵入防止策(出入り口の施錠等)が講じられている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者等に対する緊急通報体制が確立されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 不審者の情報が関係機関、近隣住民等から得られるネットワークができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-2 [安全管理] 評価の理由(コメント)

評価の理由(コメント)	評価
避難訓練計画を年齢ごとに作成し、訓練を実施しています 書庫などにつっぱり棒や固定器具を使用し、転倒を防止しています。「安全管理災害マニュアル」を職員全員に配付し、周知しています。緊急連絡体制を確立し、事務室に掲示しています。保護者へは、メール連絡網や災害時用掲示板を用いて情報を提供しています。避難訓練計画を年齢ごとに立て、月1回避難訓練を行っています。年1回、広域避難場所へ避難する訓練を子どもと職員全員で行っています。月1回、職員ミーティングにおいて、消火や通報、不審者などの訓練を行っています。職員全員が、救急救命法の講習に参加したほか、一番近くのAED設置施設を把握しています。消防チェック表を用い、毎日点検しています。	  
事故発生時の対応体制を整え、実施しています 保護者の緊急連絡先は、事務室に保管し、必要な時直ぐ閲覧できます。また、関係機関の緊急連絡先、通報先を事務室に掲示しています。子どもの怪我は、軽傷であっても昼ミーティングで報告し、職員全員に周知しています。降園時、保護者に詳しく状況を伝えています。事故記録簿を作成するとともに、再発防止策を検討し、実行しています。継続的な通院が必要な場合、職員ミーティングで経過報告を行っています。事故記録簿は、職員全員に回覧しています。	
玄関扉をオートロック式で、常時施錠し、不審者の侵入を防いでいます 玄関扉はオートロック式で、常時施錠し、保護者と職員のみが暗証番号で開錠できます。暗証番号は3か月ごと(退園があった場合、その都度)変更し、保護者へ直接知らせています。不審者マニュアルに沿って、訓練を年1回実施しています。不審者侵入の際、合言葉を使用し、必要以上に子どもに恐怖感を与えないことを基本にしています。不審者情報は、緑区こども家庭支援課からFAXで通知されるほか、園長に区の防犯情報メールが届きます。近隣で発生したときは、近くの保育園などと情報を共有し、保護者に掲示するとともに、直接伝えています。侵入防止の観点から、例えば、防犯カメラの設置などさらなる対策の検討が期待されます。	

## 評価分類Ⅱ-3 人権の尊重

### 評価項目Ⅱ-3-(1)

保育中の子どもの呼び方や叱り方などで、子どもの人格尊重を意識しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもに対して威圧的な言葉遣い、無視が行われないよう、職員間で相互に配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> せかしたり強制したりせず、おだやかに分かりやすい言葉で話している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの気持ちや発言を受け入れられるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの人格を辱めるような罰を与えたり、自尊心を傷つけるような保育を行ってはならないことを、全職員が認識している。	
B	Aの中でいずれか2つ該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-3-(2)

必要に応じてプライバシーが守れる空間を確保できるような工夫がされているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 友だちや保育士の視線を意識せず過ごせる場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、子どもに威圧感を与えず一対一で話し合える場所がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて、プライバシーを守れる場所を用意することができる。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目Ⅱ-3-(3)

個人情報の取り扱いや守秘義務について、職員等に周知しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 守秘義務の意義や目的を全職員(ボランティア・実習生含む)に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについてガイドラインをつくり、全職員に周知している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報の取り扱いについて、保護者に説明し了解を得ている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個人情報に関する記録は施錠できる場所に保管、管理している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-3-(4)

性差への先入観による役割分業意識を植え付けないよう配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 遊びや行事の役割、持ち物、服装などで性別による区別をしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 順番、グループ分け、整列など性別にしていない。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもや保護者に対して、父親・母親の役割を固定的にとらえた話し方、表現をしないようにしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 無意識に性差による固定観念で保育をしていないか、職員同士で反省する仕組みをつくっている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	



評価分類Ⅱ-3 評価の理由(コメント)	評価
<p>子どもの人権を意識し、心身の成長につながる対応を心がけています</p> <p>児童憲章を事務室に掲示し、「児童に対する正しい観念を確立し、すべての児童の幸福をはかる」ことを意識しています。本部の「教育経営計画書」の方針や保育目標に沿って、「愛して・褒めて・励まして・認める」を掲げ、子どもの自由な発想を受け入れています。同じ目線に立ち、笑顔で接し、待つことができる保育を心がけています。子どもの名前は「ちゃん」や「くん」を付けて丁寧に呼び、子どもの人格の尊重を意識しています。子どもに分かりやすい言葉かけを心がけるとともに、人格を辱めないよう注意しています。</p>	
<p>プライベート空間を用意し、必要に応じ利用しています</p> <p>園内はコーナー保育ができるよう設定し、戸棚と戸棚の間にカーテンを付けて区切るなど、他の子どもや職員の視線を気にせず過ごせるよう工夫しています。必要に応じ、事務室など落ち着いた空間で子どもと一対一で話ができるようにしています。プライバシーを守って話したい時は、事務室を使い、他の子どもが入ってこないようにしています。幼児トイレには、ドア付きのプライベートトイレを用意しています。</p>	
<p>個人情報ガイドラインと個人情報保護方針により、個人情報の取り扱いや守秘義務を徹底しています</p> <p>個人情報ガイドラインに、子どもの写真や子どもが特定されるものの園外持ち出し禁止を始め、個人情報の取り扱いを定め、事務室に掲示し、職員に周知しています。職員は入社時に、個人情報保護の説明を受け、誓約書に署名捺印をしています。ボラティアや実習生にも、オリエンテーション時に説明し、署名捺印をもらっています。個人情報保護方針を玄関に掲示し、年度初めに保護者一人一人から個人情報の取り扱いに関する同意書を提出してもらっています。</p>	 
<p>性差による固定観念をもって保育を行わないよう努めています</p> <p>男の子どもは青色、女の子どもは赤色といった性差による固定観念をもって保育を行わないよう努めています。子どもは、画用紙や折り紙なども好きな色のもので使っています。順番やグループ分けも身長順、あいうえお順、誕生日順としています。個人シールも誕生日によって分けています。普段の保育は、男女分け隔てなく行っています。毎月のクラス会議において、性差による固定観念を持たないで保育を実践できたかを振り返っています。</p>	

## 評価分類Ⅱ-4 保護者との交流・連携

### 評価項目Ⅱ-4-(1)

保護者が保育の基本方針を理解できるよう努力しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対しては、全体会または懇談会などで説明する機会を設けている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者に対して、園独自のアンケートなどで保育方針が理解されているかどうか把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 日常保育の中で、園だよりや連絡帳などで保育方針が理解されるよう努力してる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 入園時に配布する園のしおりやパンフレットなどに保育方針を明記している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-4-(2)

個々の保護者との日常的な情報交換に加え、個別面談等を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもの送迎時に、その日の子どもの様子を伝えるよう配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 連絡帳やメールなどできめ細かに情報交換を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の意向を踏まえて個別面談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラス全体の様子を伝える保護者懇談会等を実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-4-(3)

保護者の相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談内容などを人に聞かれなくて相談できるよう、配慮している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談を受けた職員が適切に対応できるよう、助言が受けられる体制になっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 相談は記録し、継続的なフォローができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目Ⅱ-4-(4)

保育内容(行事を含む)など子どもの園生活に関する情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 「園だより」など定期的に発行している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園内に、その日の保育の様子を知らせる情報を掲示している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> クラスごとの保護者懇談会などで、保育内容・目的を分かりやすく説明し情報提供を図っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> ビデオや写真などを撮って、日常の保育の様子を伝える努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-4-(5)


保護者の保育参加を進めるための工夫をしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 年間行事予定であらかじめ日時を知らせ、保護者が保育参加のための休暇等の予定を立てやすくしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観または保育参加を積極的に受け入れている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育参観、懇談会等に出席できなかった保護者へのフォローを行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価項目Ⅱ-4-(6)

保護者の自主的な活動への援助や意見交換を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者が自主的な活動をできるように場所等の提供をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者の活動に要請があれば職員も参加をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保護者組織とは常にコミュニケーションをとっている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅱ-4 評価の理由(コメント)	評価
<p>保育の基本方針について保護者の理解が得られています</p> <p>保育方針を、入園のしおりの最初に明記し、入園面談の際、園長が説明しています。玄関や各クラスにも掲示しているほか、園だよりや行事の通知にも記載しています。園だよりで、園長は、保育目標の「愛して、褒めて、励まして、認める」という視点から、心温まるエピソードなどを紹介しています。行事後に、その行事及び日々の保育についてのアンケートを行い、保育方針の理解や意見、質問などの把握に取り組み、保護者の意見や質問に対する回答を玄関に掲示しています。今回の利用者家族調査の結果では、保育目標・保育方針についての質問(問1)に対し、「よく知っている」、「まあ知っている」と回答した人は計45人(98%)で、保育園の取り組みが保護者に届いていることがうかがえました。</p>	
<p>子どもの様子を丁寧に伝え、相談にいつでも応えるなど、保護者との信頼関係を大切にしています</p> <p>降園時、エピソードなどを交えてその日の子どもの様子を伝えていきます。担任でなくても伝えられよう屋ミーティングなどで共有しています。クラスの活動は、玄関のホワイトボードで知らせていきます。園だよりを毎月発行し、各クラスだより、給食便り、献立、保育内容、保健だより、先生の紹介などを掲載しています。保護者との個人面談は、年2回、行い、要望がある場合は、その都度対応しています。保護者から相談があった場合、事務室や合同保育後の空いたクラスの部屋などを利用し、落ち着いて話せるよう配慮しています。子育て支援専門講座やカウンセリング講座などを受講し、相談に対し適切に対応できるよう努力しています。子どもの様子を連絡帳に記載したり、降園時、エピソードを交えて保護者に伝えていきます。</p>	
<p>保育参加期間を8か月間設定し、保護者が参加しやすいよう配慮しています</p> <p>年間行事予定は年度初めに配付・掲示し、また、園だよりで実施の2か月前から知らせていきます。詳細が決まり次第、速報として玄関に貼り出しています。保育参加期間を7月から2月までと設定し、保護者が参加しやすいよう配慮しています。絵本の読み聞かせ、制作、散歩などを子どもと一緒に活動し、給食を試食します。保育参加後に、アンケートを実施し、意見を保育に反映させたり、質問には園だよりで回答しています。懇談会は、年1回実施しています。日頃の子どもの様子を写真やビデオで伝えたり、意見交換を行い、保護者同士が交流するきっかけにもなっています。参加できなかった保護者へは、後日内容を伝えていきます。また、年2回運営委員会を開催し、保護者代表(2人)が出席し、意見交換を行っています。現状、こうした取り組みが、保護者組織の機能を果たしていると思われませんが、今後、保護者の意見を聞きながら保護者組織に発展させるかの検討が期待されます。</p>	

評価領域Ⅲ 地域支援機能

評価分類Ⅲ－1 地域のニーズに応じた子育て支援サービスの提供

評価項目Ⅲ－1－(1)





地域の子育て支援ニーズを把握するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民との交流の中で、施設に対する要望を把握するための具体策を講じている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に対する相談事業を通じて把握している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて関係機関や他施設との検討会・研究会を行っている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目Ⅲ－1－(2)

地域の子育て支援ニーズに応じて施設の専門性を活かしたサービスを提供しているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
A	<input checked="" type="checkbox"/> 地域の子育て支援ニーズについて、定期的(年に1回程度)に職員間で話し合われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での子育てを支援するためのサービス(一時保育、交流保育、園庭開放等)を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 地域住民に向けて子育てや保育に関する講習・研修会を開催している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－1 評価の理由(コメント)		評価
園庭開放や育児相談、「みどりっこまつり」を通して、子育て支援に取り組んでいます		  
園庭開放を行い、地域の子育て家庭の保護者と交流を図り、子育て支援のニーズを把握しています。毎年6月、緑区の「みどりっこまつり」に、保育園として絵本の読み聞かせなどで参加しています。実施後のアンケートによって、地域のニーズを把握しています。また、「みどりっこカレンダー」(子育て支援団体が作成)に、保育園の育児相談の予定日(毎週水曜日)を掲載して、地域の人に利用を呼びかけています。		
地域の子育て支援について話し合い、一時保育や園庭開放などを実施しています		
毎月のリーダー会において、各クラスの保育状況や職員のこと、主任や栄養士からの報告などを話し合い、今後実施する行事の内容を決定しています。保育園は、一時保育を実施しているほか、交流保育として、相撲大会、ドッチボール大会などを通して取り組んでいます。また、絵本の読み聞かせなど親子で楽しめる活動を企画し、参加を呼びかけています。		

## 評価分類Ⅲ－２ 保育園の専門性を活かした相談機能

### 評価項目Ⅲ－２－(1)




地域住民への情報提供や育児相談に応じているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 情報提供や育児相談を実施している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 育児相談については、定期的(最低週に1回)に相談日を設けて対応している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園からのお知らせを地域に回覧するなどして、情報提供に努めている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目Ⅲ－２－(2)

相談内容に応じて関係諸機関・団体との連携ができる体制になっているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要な関係機関・地域の団体等をリスト化する等により情報を職員が共有している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関との連携の担当者が決められている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 関係機関・団体等との日常的な連携ができています。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅲ－２ 評価の理由(コメント)		評価
<p>子育て家庭の育児相談に応じていることを広く周知し、実施しています</p> <p>「みどりっこカレンダー」に、保育園の育児相談の日を掲載し、地域の子育て家庭へ育児相談の場を提供しています。育児相談は、毎週行っている園庭開放時にも実施し、また、電話での相談や入園見学時の相談にも応じています。対応は、主として園長が行い、相談内容には卒園した児童についての悩みが含まれるなど多様化しています。相談時には、園だよりを配付し、情報を提供しています。また、玄関に育児相談の掲示を行い、地域の子育て家庭の相談に対応していることを知らせています。</p>		  
<p>相談内容に応じ、いつでも関係機関と連携できる体制を整えています</p> <p>事務室に、警察や消防署、緑区こども家庭支援課、横浜市の児童相談所や地域療育センターなど緊急時の連絡先リストを掲示し、職員間で情報を共有しています。こうした関係機関といつでも報告・連絡・相談を行える体制を整えています。玄関に、保護者も利用できるよう嘱託医の内科医と歯科医の連絡先を掲示しています。関係機関との連絡は、園長が担当し、緊急の場合は、本部への報告・連絡・相談のうえ、関係機関に迅速に連絡する体制をとっています。</p>		



## 評価領域Ⅳ 開かれた運営

### 評価分類Ⅳ－1 保育園の地域開放・地域コミュニティへの働きかけ

#### 評価項目Ⅳ－1－(1)




保育園に対する理解促進のための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	園の行事に地域住民を招待している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	自治会・町内会、ボランティアグループ等と協力して行事を行うなど、地域の団体、機関と定期的(年1回以上)、計画的に交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	小中高等学校など、学校教育との連携を積極的に図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地域への施設開放や備品等の貸し出しを行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	近隣との友好的な関係を築くための取り組みを行っている。	
B	Aの中でいずれか3つは該当する。	
C	Aの中で1～2つ該当する、または全く行っていない。	

#### 評価項目Ⅳ－1－(2)

子どもと地域との日常的な交流により、子どもの生活の充実と地域の理解を深めているか。

判断基準		評価
	次の全てに該当する。	A
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の文化・レクリエーション施設等を利用している。	
<input checked="" type="checkbox"/>	日常的に地域の人達と接する機会(散歩・買い物等)に積極的に交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	日常的に他の園・学校・福祉施設等との交流を図っている。	
<input checked="" type="checkbox"/>	地域の行事や活動に参加できるよう配慮している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類Ⅳ－1 評価の理由(コメント)		評価
<p>行事への呼びかけ、懇親会への参加などを通して、地域の学校や地域住民と交流しています</p> <p>「絵本の読み聞かせ」や「おすもう大会」などの行事の予定を「みどりっこカレンダー」に記載し、地域住民に参加を呼びかけています。地域の自治会員として、懇親会(学校や消防、ボランティア等約20名参加する交流会)に参加し、交流しています。地域の祭りに、ヨーヨー釣りや焼きそばを出店し、住民との交流を図っています。近隣の小学校とは、毎年3月頃、見学を行い、入学予定の子どもを引き継ぎ、併せて、保育所児童保育要録を手渡しています。隣接する施設を始め、近隣と良い関係を保っています。</p>		  
<p>地区センター、地域交流センターなどを利用し、地域との交流を図っています</p> <p>子どもの遊び場ともなっている神社へ、ドンド焼きに行き、また、みどりっこ祭りでは土曜保育のために地区センターを利用しています。運動会では、地域交流センターのグラウンドを借用しています。毎日の戸外活動時、子どもたちは、近隣の人や通りがかりの人々と自然に挨拶を交わしています。小学校や障害者施設の行事に参加し、交流を図っています。秋には、近所の畑でいも掘りを体験し、他保育園の子どもたちと一緒に遊んでいます。</p>		

## 評価分類Ⅳ-2 サービス内容等に関する情報提供

### 評価項目Ⅳ-2-1)




将来の利用者が関心のある事項についてわかりやすく情報を提供しているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> 次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園のパンフレット・広報誌・ホームページ等により、地域や関係機関に随時、情報を提供している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 外部の情報提供媒体に対して園の情報を提供している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 園として、すすんでサービス内容の詳細、料金、職員体制等、必要な情報を提供している。	
C	Aの中でいずれか1つは該当する。	
	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目Ⅳ-2-2)

利用希望者の問い合わせや見学に対応しているか。

判断基準		評価
A	<input checked="" type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等についての問い合わせに対しては、常時対応できるようになっている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用希望者に見学ができることを案内している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 保育に支障をきたさない範囲で、曜日や時間は見学希望者の都合に対応している。	
C	<input checked="" type="checkbox"/> 園の基本方針や利用条件・サービス内容等について、パンフレット等の資料や文書に基づいて説明している。	
	上記のいずれにも該当しない。	

評価分類Ⅳ-2 評価の理由(コメント)		評価
<p>パンフレットや園だより、入園のしおりなどによって、利用者が知りたい情報を提供しています                      ブログ「中山こども園 災害時用掲示板」を利用して、園長のメッセージや月ごとの園だよりを掲載し、行事や保育参加などの情報を提供しています。見学者や園庭開放の利用者、一時保育の登録者に、保育園のパンフレットや園だよりを配付しています。緑区こども家庭支援課が発行する「みどりっ子カレンダー」に、育児相談や園庭開放、行事などについての情報を提供しています。一時保育のしおりや入園のしおりに、サービス内容や料金体系などをそれぞれ記載しています。</p>		  
<p>利用希望者などに対し、保育園を案内し、パンフレットや園だよりを利用して説明しています                      園の基本方針や利用条件、保育内容などに関する問い合わせに対し、園長と主任が対応しています。園長や主任以外にも、園見学対応マニュアルに従って、職員が対応しています。見学希望者に、「みどりっこカレンダー」などに随時受け付ける旨を記載しています。見学を受け付ける際、希望日時やどのような活動を見学したいかを聞き、その希望に沿って案内しています。パンフレットや園だよりを配付しながら、保育園を理解してもらえるよう説明しています。</p>		

### 評価分類Ⅳ－3 ボランティア・実習の受け入れ

#### 評価項目Ⅳ－3－(1)

ボランティアの受け入れや育成を積極的に行っているか。







判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れと育成の担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
<input checked="" type="checkbox"/> ボランティアの感想や意見を園運営に反映させている。		
B	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づきボランティアに対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

#### 評価項目Ⅳ－3－(2)

実習生の受け入れを適切に行っているか。

判断基準		評価
A	<input type="checkbox"/> Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れにあたり、あらかじめ職員や利用者にも基本的な考え方・方針が理解されるよう説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのための担当者が決められており、受け入れ時の記録が整備されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 実習目的に応じた効果的な実習が行われるためにプログラム等を工夫している。	
<input checked="" type="checkbox"/> 実習生と職員との意見交換の機会を設けている。		
B	<input checked="" type="checkbox"/> 受け入れのためのマニュアル等があり、それに基づき実習生に対して園の方針、利用者への配慮等を十分説明している。	
C	受け入れのためのマニュアル等がなく、取り組みが不十分である。	

#### 評価分類Ⅳ－3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>ボランティアの受け入れを「受け入れマニュアル」により、積極的に行っています</p> <p>園長がボランティアの受け入れを担当し、主任とクラス担任が活動を援助しています。ボランティアは、「受け入れマニュアル」に沿って受け入れています。個人情報保護及び守秘義務の遵守のため、誓約書に記名捺印をもらっています。活動終了時、「ボランティア感想・反省の記録」に記入してもらいます。子どもや保護者へ、事前にボランティアの名前や受け入れ日時などを話したり、掲示したりして、知らせています。</p>	  
<p>実習生の受け入れを「受け入れマニュアル」により、適切に行っています</p> <p>実習生の受け入れは、園長は担当し、主任・クラス担当が指導や助言を受け持っています。オリエンテーションのとき、「受け入れマニュアル」に沿って、実習に当たっての注意事項を説明しています。実習生の「保育実習依頼申請書」により、実習目的や希望を確認し、実習するクラスなどを決めます。個人情報保護及び守秘義務の遵守のため、誓約書に記名捺印をもらっています。午睡時間に、実習生と意見交換を行っています。子どもや保護者には、事前に実習生が来ることを話したり、掲示したりして、知らせています。</p>	  

## 評価領域 V 人材育成・援助技術の向上

### 評価分類 V-1 職員の人材育成

評価項目 V-1-1(1)

保育園の理念や方針に適合した人材を育成するための取り組みを行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 園運営に十分な人材構成であるかをチェックし、必要な人材の補充を逐次行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園の理念・方針をふまえた保育を実施するよう、人材育成の計画が策定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 個々の職員の資質向上に向けた目標を毎年定め、達成度の評価が行われている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目 V-1-1(2)

職員・非常勤職員の研修体制が確立しているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 内部研修が定期的実施され、職員・非常勤職員とも必要な職員が必ず受講できる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 園外の研修会、大会等への参加、他の福祉施設での実地研修等が積極的に行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を職場で活かすための工夫がされている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 研修の成果を評価して、研修内容を常に見直している。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の研修ニーズにも配慮し、研修担当者が研修計画を作成している。	
C	園としての研修計画を作成しておらず、取り組みが不十分である。	

評価項目 V-1-1(3)

非常勤職員等にも日常の指導を行っているか

判断基準		評価
A	Bに該当したうえで、次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 業務にあたっては職員と非常勤職員の組み合わせなどの配慮をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員に対し、職員と同様に資質向上への取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員の指導担当者が定められ職員間のコミュニケーションが図られている。	
B	<input checked="" type="checkbox"/> 非常勤職員にも業務マニュアルが配布されている。	
C	業務マニュアルもなく、取り組みが不十分である。	

#### 評価分類 V-1 評価の理由(コメント)

評価
理念や園の方針に適合した人材育成に取り組んでいます
必要な人材の確保は、本部が傘下の保育園の状況をもとに行い、保育園は、非常勤職員の募集、面談を担っています。保育園は、毎月、本部に園児数を報告するとともに、園児数に変更があった場合はその都度連絡し、必要な職員の配置に努めています。理念や保育園の方針は、毎月のミーティングで読み合わせを行い、理解を深めています。職員の資質向上のため、「スタッフシート」を活用し、自らが設定した業務遂行評価項目の達成状況を評価しています。
内部研修、外部研修、園周り研修等の実施により、職員の研修体制を確立しています
園長が、職員と話し合いながら職員に合った研修の受講を決めています。本部は、新卒や2年目、中堅、リーダー、主任、栄養士など経験年数・職位・職務別研修と、気になる子や衛生、発表会や運動会などの専門研修を実施しています。これらに加えて、傘下の他の保育園の保育を観察して学ぶ園周り研修、先進事例を学ぶ出張研修や海外研修を実施しています。また、横浜市などが主催する研修も利用しています。こうした多様な研修を用意し、職員が力量を向上させる機会を保障しています。受講後、研修報告を行い、職員間で共有に努めています。
非常勤職員の研修や昼ミーティングへの参加等により、日常の指導を行っています
保育や調理を担当する非常勤職員の指導はクラスリーダーと栄養士がそれぞれ担当しています。毎日の昼ミーティングや行事の打ち上げ会に参加し、常勤職員と変わりなく業務に就いています。保育担当の職員は、クラスの副担任として、若い職員をサポートしています。調理担当の職員はそのキャリアを生かし、栄養士を補佐しています。中途採用者向けの研修を本部が用意し、非常勤職員が受講することで、資質の向上に役立っています。





## 評価分類V-2 職員の技術の向上

### 評価項目V-2-(1)

職員のスキルの段階にあわせて計画的に技術の向上に取り組んでいるか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員の振り返りや、保育所の自己評価を計画的に行う仕組みを持っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 工夫・改善した良いサービス事例をもとに、一層のサービス向上を目指した会議・勉強会が開かれている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必要に応じて外部から保育の技術の評価・指導等を受ける仕組みがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目V-2-(2) ※新規項目

保育士等が保育や業務の計画および記録を通して自らの実践を振り返り、改善に努める仕組みがあるか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が、自己の実践の振り返りをし、文章化できるように計画や記録の書式が定型化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、計画で意図した保育のねらいと関連づけて行われている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 振り返りは、子どもの活動やその結果だけでなく、子どもの育ちや意欲、取り組む過程などを重視して行っている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等一人一人が振り返りを通して自己の実践を評価し、改善やその後の計画作成に反映させている。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目V-2-(3) ※新規項目

保育士等の自己評価を踏まえ、保育園としての自己評価を行っているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果を互いに報告し合い、話し合っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育士等の振り返りの結果から、園としての課題を明らかにし、改善に取り組んでいる。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価は、園の理念や保育の方針、保育課程に沿って行われている。	
<input checked="" type="checkbox"/> 保育園としての自己評価を公表している。		
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価分類V-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
職員チェックリストや保護者アンケートの結果などを活用し、力量の向上に取り組んでいます	  
園長が作成した職員チェックリストを用いて、業務や掃除・整理整頓、基本動作、保育実施内容などについて、3段階で自己評価を計画的に行っています。行事終了時に結果を振り返り、反省点をまとめ、次回の企画に反映しています。本部が実施している保護者アンケートの結果をもとに、改善点を話し合い、保育の向上に活用しています。園まわり研修の機会に、備品や玩具の配置、掃除の仕方などについて外部講師の指導を受けています。	
保育士が保育や計画を通して自らの実践を評価し、改善に努めています	
年間指導計画や月間、週案に、保育目標やねらいなどとともに、自己評価の記入欄を設けています。職員は、年間指導計画や月間、週案などで立てた保育目標やねらいについて、一定の活動期間後の子どもの姿をもとに、取り組みの自己評価を行い、記入しています。自己評価の結果を、次期の保育に生かしています。日誌に、子どもの日々の活動と成長の様子を記録し、同時に反省点を記入しています。	
保育士の自己評価やアンケート結果を踏まえて、園としての自己評価を公表しています	
職員の自己評価の結果をもとに、クラス会議やミーティングで話し合っています。自己評価をふまえ、保育園の自己評価をまとめています。こうした話し合いから浮かび上がった課題に対し、職員チェックリストの項目を変更したり、追加を検討しています。理念や保育園の方針を再確認し、職員の方向性を同じくするため、職員会議や昼ミーティングにおいて、小テストを行っています。本部の保護者アンケートや行事後のアンケートに運営に関する項目を設定し、その結果を職員全員で話し合っています。	






### 評価分類V-3 職員のモチベーションの維持

評価項目V-3-(1)

本人の適性・経験・能力に応じた役割を与え、やりがいや満足度を高めているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 経験・能力や習熟度に応じた役割が期待水準として明文化されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者の状況に応じ自主的に判断できるように、現場の職員に可能な限り権限を委譲し、責任を明確化している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員から業務改善の提案を募ったり、意見を聴取するためのアンケートなどを実施している。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

評価分類V-3 評価の理由(コメント)		評価
<p>スタッフシートに役割や期待水準を明記し、臨機応変な対応を担任に任せています</p> <p>役割や期待水準を明記したスタッフシートを用いて、職員は、定期的に自己評価を行います。園長は、スタッフシートをもとに、職員と面談し、制作やピアノ、運動など得意分野を発揮できるよう話し合っています。また、スタッフシートの項目に沿って、職員の理解や実行状態を評価し、育成に活用しています。クラスの状況に応じた対応をクラス担任に委ねていますが、判断に迷った時の相談や保育状況の連絡・報告を徹底しています。</p>		  
<p>「月報」や面談で職員の満足度や要望を把握し、モチベーションアップを図っています</p> <p>業務の改善を提案する機会として、クラス会や職員会議に加え、「月報」を活用しています。月報に、職員が改善点や気になることなどを記入しておき、担当職員がまとめ、全員で話し合い、対策を検討しています。職員との面談において、職員の満足度や要望を把握するとともに、抱えている問題点や改善点などを話し合い、解決や解消に取り組んでいます。面談時に、本部の職員満足度アンケートの結果や園長が作成している職員チェックリストを参考資料として利用しています。</p>		

## 評価領域VI 経営管理

### 評価分類VI-1 経営における社会的責任

評価項目VI-1-1(1)

事業者として守るべき、法・規範・倫理等を周知し実行しているか。





判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 組織及び職員が不正・不適切な行為を行わないよう守るべき法・規範・倫理等が明文化され職員に周知されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 経営、運営状況等の情報が積極的に公開されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 他施設での不正、不適切な事案を題材とした研修を行い、それらの行為を行わないよう啓発している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

評価項目VI-1-1(2)

サービスの質を維持しつつゴミ減量化・リサイクル・省エネルギーの促進、緑化の推進など環境に配慮しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> ゴミ減量化・リサイクルのための取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 省エネルギーの促進・緑化の推進などの取り組みを行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 環境への考え方、取り組みが明文化され、運営に活かされている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

#### 評価分類VI-1 評価の理由(コメント)

評価理由	評価
守るべき法律、規範、倫理について、研修や勉強会、職員ミーティングで周知・徹底しています	  
保育事業に従事する者として守るべき法律、規範、倫理等について、職員全員が入社時の研修を受講し、認識しています。入社後、毎月の勉強会や職員ミーティングにおいて、「教育経営計画書」を読み合わせ、再確認し、徹底しています。毎年、保育園の事業報告書や事業計画書を横浜市へ提出し、また、保護者が見られるよう冊子にして玄関に掲示するなど運営状況を公開しています。本部の園長会で報告された他の施設の不正や不適切な事例を持ち帰り、同じような間違いを起こさないよう注意を喚起しています。	
資源のリサイクルや省エネ、ゴミ拾い等により、環境に配慮した取り組みをしています	
牛乳パックを利用して、イスや台、テーブルなど子どもたちの玩具を作り、資源のリサイクルに取り組んでいます。エアコンの温度は夏は高め、冬は低めにそれぞれ設定するなど省エネを促進しています。プランターに花や野菜を植え、緑化に努めています。横浜市環境局主催のゴミ分別の人形劇を観覧することで、子どもたちの環境への考え方が変わりました。	

## 評価分類VI-2 施設長のリーダーシップ・主任の役割等

### 評価項目VI-2-1

保育園の理念や基本方針等について職員に周知されているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を明文化したものを掲示または職員に配布している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 職員に朝礼・会議等で周知し、理解を促すための説明をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 理念・基本方針を職員が理解できているか、園長・主任が定期的(採用時1回、採用後は最低年1回)に確認している。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目VI-2-2

重要な意思決定にあたり、関係職員・保護者等から情報・意見を集めたり説明しているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定にあたり、園長は保護者と継続的に意見交換をしている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な意思決定(変更)について、職員及び保護者に目的・決定(変更)理由・経過等を十分に説明している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 異なる部門の職員による検討チームを編成し組織をあげて取り組むしくみがある。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目VI-2-3

主任クラスの職員がスーパーバイザーとしての役割を果たしているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> スーパーバイズのできる主任クラスを計画的に育成するプログラムがある。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任が個々の職員の業務状況を把握できるしくみがあり、有効に機能している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員の能力や経験にあわせた確かな助言や指導を行っている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 主任は個々の職員が精神的・肉体的に良好な状態で仕事に取り組めるよう、具体的な配慮を行っている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価分類VI-2 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)		評価
職員に、園の方針や目標を周知し、読み合わせ、理解度を確認しています 「入園のしおり」に、園の方針「働く保護者をサポートし子どもが育つ為の必要な環境を整える」、園の目標「愛して 誉めて 励まして 認める」を記載しています。入園のしおりを職員全員に配付し、方針や目標に対する認識を深めています。保育理念や保育方針、保育目標は、保育課程にも記載し、朝礼や職員会議で読み合わせを行い、確認しています。職員チェックリストに、方針と目標を確認項目として載せ、面談時に職員の理解度を確認しています。		  
保育園の運営に関することは、保護者の意向を聞き、職員全員で検討しています 保護者と、日々、子どもの送迎時にコミュニケーションを密にとるなど良好な関係を保つよう心がけています。日常の会話を通して保護者の意見や要望を把握しているほか、年2回開催する運営委員会で保護者代表の意見を聞き、運営に反映しています。例えば、行事など保育園の運営に関し急な変更があった場合、通知を保護者一人一人に手渡し、口頭でも説明して理解してもらえるよう努めています。園全体に関わることについては、職員会議など職員全員が参加する場で話し合い、決定しています。		
主任やリーダーが、研修を受け、スーパーバイザーの役割を担っています 主任クラスのスキルやモチベーションアップのため、本部が主任研修やリーダー研修を実施しています。各保育園の主任やリーダーが本部に集まり、中間的立場の悩みや部下のリードの仕方などについて意見を出し、学んでいます。毎月主任が主宰するリーダー会で、園長に直接話づらいことも取り上げ、主任・リーダーを通して園長に伝えています。主任は、クラスに入り、職員の能力に応じた役割の振り分け、指導やアドバイスを行うなど、スーパーバイザーの役割を担っています。		

## 評価分類VI-3 効率的な運営

### 評価項目VI-3-(1)

外部環境の変化等に対応し、理念や基本方針を実現するための取り組みを行っているか。




判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業運営に影響のある情報を収集・分析している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 重要な情報は幹部職員や主要な職員間で共有するため会議等で議論し、重点改善課題として設定されている。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営面での重要な改善課題について、職員に周知し、園全体の取り組みとしている。	
B	Aの中でいずれか1つは該当する。	
C	上記のいずれにも該当しない。	

### 評価項目VI-3-(2)

保育園運営に関して、中長期的な計画や目標を策定しているか。

判断基準		評価
A	次の全てに該当する。	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 中長期的な事業の方向性を定めた計画を作成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の組織運営に備え、運営やサービスプロセスの新たなしくみを常に検討している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 次代の施設運営に備え、幹部職員は計画的に後継者を育成している。	
	<input checked="" type="checkbox"/> 運営に関し、外部の機関や専門家などの意見を取り入れる努力をしている。	
B	Aの中でいずれか2つは該当する。	
C	Aの中で1つ該当する、または全く行っていない。	

### 評価分類VI-3 評価の理由(コメント)

評価理由(コメント)	評価
<p>いろいろな方法で外部情報を収集し、課題を設定し、改善に向け職員全員で取り組んでいます 園長は、区の保育園長会に出席したり、セミナーや研修を受講し、運営に必要な情報を収集しています。海外の保育園見学や近隣の他の保育園見学などスタイルが異なる保育園を訪問し、保育状況を観察するとともに、参考情報を収集しています。毎月本部の園長会議に出席し、重要な情報を始め、苦情、事故や怪我などの事例を検討しています。園長会議から持ち帰った情報は、リーダー会議で改善課題として話し合い、さらに、職員会議で職員全員に報告し、必要に応じ全体の課題とするなど、運営に生かしています。</p>	  
<p>計画を教育経営計画書を念頭に策定し、保育の充実を目標としています 保育園の計画を、長期的視点に立つ教育経営計画書の「自分の子どもを入れたい園にする」を念頭において策定しています。今後の方向性として、若い職員が成長してきたことを踏まえ、保育の充実を目標としています。本部は、計画的に後継者を育てるため、新人・2年目・中堅・主任・園長などの段階別研修を導入し、実施しています。また、保育園においては意識的に職員に仕事を任せることによって、責任感を持たせ、モチベーションアップを図っています。運営に関し、園回り研修の機会に外部の専門家の指導や助言を受け、活用しています。</p>	

## 利用者家族調査の結果

### 調査の概況

調査対象：2015年10月現在、在園の子どもの保護者世帯を対象としました。  
 調査方法：アンケート方式で実施しました。保育園から保護者に対し予め第三者評価の目的について説明してもらい、利用者家族調査票と評価機関作成の説明書を配付しました。保護者から記入後評価機関へ直接郵送してもらい回収しました。利用者総数58人(世帯)、有効回答数46人、利用者総数に対する回答者割合79%。

### 結果の特徴

回答者の総合的な評価は、「満足」が34人(74%)、「どちらかといえば満足」が10人(22%)、合わせると96%という結果となりました。「どちらかといえば不満」は2人、「不満」はいませんでした。  
 個別の質問に対し、問2-4「入園時の面接などで、お子さんの様子や生育歴など聞く対応について」は、「満足」36人(78%)、「どちらかという満足」10人(22%)で、合わせると100%でした。問4-12「お子さんの体調への気配りについて」、問7-1「あなたのお子さんが大切にされているか」、問7-2「あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるか」については、「満足」と「どちらかといえば満足」を合わせると98%でした。  
 他方、問5-1「施設設備について」は、「どちらかという不満」7人(15%)、「不満」2人(4%)で計9人(19%)、問4-9「基本的な生活習慣の自立にむけての取り組みについて」と、問5-3「外部からの不審者侵入を防ぐ対策について」は、いずれも「どちらかという不満」4人(9%)、「不満」2人(4%)で計6人(13%)でした。  
 保育園に対する意見や要望などに「子どもにも保護者にも優しく、とてもいい園」との記述や「インターネットからの情報を用いて保護者に説明するのではなく、きちんと根拠のある情報をもとに話しや行動をする必要がある。」との記述がありました。

### ■ 保育園の基本理念や基本方針について

問1 あなたは、この園の保育目標・保育方針をご存知ですか(○は1つだけ)

よく知っている	まあ知っている	どちらかともいえない	あまり知らない	まったく知らない
22	23	0	1	0
48%	50%	0%	2%	0%

「1 よく知っている」または「2 まあ知っている」と答えた人のうち

1-2 その保育目標や保育方針は賛同できるか

賛同できる	まあ賛同できる	どちらかともいえない	あまり賛同できない	賛同できない
34	11	0	0	0
76%	24%	0%	0%	0%

### ■ 保育園のサービス内容について

問2 お子さんが入園する時の状況について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
2-1 見学の受け入れについては		29	12	0	0	5
		63%	26%	0%	0%	11%
2-2 入園前の見学や説明など、園からの情報提供については	その他	急に入園が決まったため日程が合わず見学はしなかった。過去に数回一時保育でお世話になっていたので問題はなかった。見学しなかった(2件)。上の子が既に入園していたため、見学しなかった。				
		32	11	2	0	0
		71%	24%	4%	0%	0%
2-3 園の目標や方針についての説明には		31	14	1	0	0
		67%	30%	2%	0%	0%
	その他					

2-4 入園時の面接などで、お子さんの様子や 生育歴などを聞く対応については		36	10	0	0	0
		78%	22%	0%	0%	0%
	その他					
2-5 保育園での1日の過ごし方についての説明には		26	18	1	1	0
		57%	39%	2%	2%	0%
	その他					
2-6 費用やきまりに関する説明については (入園後に食い違いがなかったかを含めて)		30	13	3	0	0
		65%	28%	7%	0%	0%
	その他					

### 問3 保育や行事の年間計画について

		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
3-1 年間の保育や行事のについての説明には		27	17	1	1	0
		59%	37%	2%	2%	0%
	その他					
3-2 年間の保育や行事に、保護者の要望が活 かされているかについては		24	18	3	0	1
		52%	39%	7%	0%	2%
	その他	まだよくわからないため。				

### 問4 日常の保育内容について

【遊び】について		満足	どちらかといえ ば満足	どちらかといえ ば不満	不満	その他
4-1 クラスの活動や遊びについては (お子さんが満足しているかなど)		31	11	3	1	0
		67%	24%	7%	2%	0%
	その他					
4-2 子どもが戸外遊びを十分しているかにつ いては		27	16	2	1	0
		59%	35%	4%	2%	0%
	その他					
4-3 園のおもちゃや教材については (お子さんが自由に使えるように置いてあるか、 年齢にふさわしいかなど)		29	13	3	0	1
		63%	28%	7%	0%	2%
	その他	どのようなおもちゃや教材があるか知らない(本含む)。				
4-4 自然に触れたり地域に関わるなどの、園外 活動については		27	15	4	0	0
		59%	33%	9%	0%	0%
	その他					
4-5 遊びを通じて友だちや保育者との関わりが 十分もてているかについては		30	12	3	1	0
		65%	26%	7%	2%	0%
	その他					
4-6 遊びを通じたお子さんの健康づくりへの取 り組みについては		25	17	4	0	0
		54%	37%	9%	0%	0%
	その他					



【生活】について		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
4-7 給食の献立内容については		33	10	1	1	1
		72%	22%	2%	2%	2%
	その他					
4-8 お子さんが給食を楽しんでいるかについては		32	11	2	0	1
		70%	24%	4%	0%	2%
	その他					
4-9 基本的な生活習慣(衣服の着脱、手洗いなど)の自立に向けての取り組みについては		28	10	4	2	2
		61%	22%	9%	4%	4%
	その他	まだオムツのため不明。まだ小さいので、そういった取り組みがされているのかよく分からない。				
4-10 昼寝や休憩がお子さんの状況に応じて対応されているかなどについては		30	12	2	1	1
		65%	26%	4%	2%	2%
	その他	相談中。				
4-11 おむつはずしは、家庭と協力し、お子さんの成長に合わせて柔軟に進めているかについては		23	10	2	2	9
		50%	22%	4%	4%	20%
	その他	その子に合わせて進めていただいていると思いますが、個人的には、もう少しおむつはずしに積極的な方が嬉しいです。子どもの気分などもあり、うまくいったのにストップしてしまったり、どうして良いか悩み中。トイレに座る習慣はあるようだが、まだおむつはずしのレベルではない。おむつはずれた後の入園なのでない(2件)。まだ、おむつはずしの時期ではないと思います(2件)。わかりません。				
4-12 お子さんの体調への気配りについては		30	15	1	0	0
		65%	33%	2%	0%	0%
	その他					
4-13 保育中にあったケガに関する保護者への説明やその後の対応には		29	15	1	1	0
		63%	33%	2%	2%	0%
	その他					

問5 保育園の快適さや安全対策などについて

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
5-1 施設設備については		15	21	7	2	1
		33%	46%	15%	4%	2%
	その他	正直、施設に関しては、あまりよいとは思えませんが、今の時代なかなか難しいですし、その中で、うまくつくりられているとは思いますが				
5-2 お子さんが落ち着いて過ごせる雰囲気になっているかについては		22	19	4	1	0
		48%	41%	9%	2%	0%
	その他					
5-3 外部からの不審者侵入を防ぐ対策については		19	21	4	2	0
		41%	46%	9%	4%	0%
	その他					
5-4 感染症の発生状況や注意事項などの情報提供については		28	14	2	1	1
		61%	30%	4%	2%	2%
	その他	どのクラスで感染症がはやっているのかを教えてください。また、園で感染を広げないためにやっている対策等も明確にしてほしい。				

問6 園と保護者との連携・交流について

		満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満	その他
6-1 保護者懇談会や個別面談などによる話し合いの機会については		21	20	4	0	1
		46%	43%	9%	0%	2%
	その他	無回答(1件)				
6-2 園だよりや掲示などによる、園の様子や行事に関する情報提供については		29	14	2	1	0
		63%	30%	4%	2%	0%
	その他					
6-3 園の行事の開催日や時間帯への配慮については		33	11	1	1	0
		72%	24%	2%	2%	0%
	その他					
6-4 送り迎えの際、お子さんの様子に関する情報交換については		22	21	3	0	0
		48%	46%	7%	0%	0%
	その他					
6-5 お子さんに関する重要な情報の連絡体制については		26	15	2	2	1
		57%	33%	4%	4%	2%
	その他	質問の意味がわからない。				
6-6 保護者からの相談事への対応には		26	18	1	1	0
		57%	39%	2%	2%	0%
	その他					
6-7 開所時間内であれば柔軟に対応してくれるなど、残業などで迎えが遅くなる場合の対応については		34	8	2	0	2
		74%	17%	4%	0%	4%
	その他	遅くなったことがないので不明。				

問7 職員の対応について

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満	その他
7-1 あなたのお子さんが大切にされているかについては		34	11	1	0	0
		74%	24%	2%	0%	0%
	その他					
7-2 あなたのお子さんが保育園生活を楽しんでいるかについては		36	9	0	1	0
		78%	20%	0%	2%	0%
	その他					
7-3 アレルギーのあるお子さんや障害のあるお子さんへの配慮については		26	12	1	0	7
		57%	26%	2%	0%	15%
	その他	あまりそういったことに遭遇していないので…。あてはまるお子さんがいないと思うので。(同じクラスに)よくわからない(3件)。無回答(2件)				
7-4 話しやすい雰囲気、態度であるかどうかについては		31	13	1	1	0
		67%	28%	2%	2%	0%
	その他					
7-5 意見や要望への対応については		30	12	2	1	0
		67%	27%	4%	2%	0%
	その他					

問8 保育園の総合的評価

		満足	どちらかといえは満足	どちらかといえは不満	不満
総合満足度		34	10	2	0
		74%	22%	4%	0%

## 問9 保育園への意見・要望など

### 問1 保育園の保育目標・保育方針について

記入無

### 問2 入園する時の状況について

- ・複数園に見学に行ったが最も親切、親身で、ここに入園させたいと思った。
- ・真剣に聞いてくれた。
- ・3歳から主食代がかかることの説明がなかった。

### 問3 保育や行事の年間計画について

- ・行事に関しては、保護者の負担が少ないよう配慮してくれていると感じる。
- ・必ず、毎回アンケートをとり、フィードバックもあり、次年度で意見を生かし、また反省してと、保護者の声を無視せず、できる事を考えてくれていると思います。
- ・保護者の要望を聞かれたことがない。ひとつひとつの行事が終わった後のアンケートはあるが、全体を通しての意見を聞かれたことはないと思います。

### 問4 (1) 日常の保育内容について【遊び】

- ・沢山歩かせてくれるので体力がつかまりました。
- ・いつも丁寧な対応と報告に満足(感謝しています)
- ・夏期のプールが少なすぎる。

### 問4 (2) 日常の保育内容について【生活】

- ・毎日おいしいと話しています。
- ・母親が焦っていると、子供ががんばってますよ！と子どもの成長にあわせて進めようとしてくれます。
- ・先生によゆうがなく、オムツトレーニングをあまりやってくれないイメージ。

### 問5 保育園の快適さや安全対策などについて

- ・メールでも情報がくるのは助かりますし、その症状の説明も付けてくれるのはすごくよいと思います。
- ・決して広い園ではないですが、工夫されています。小さい子はテラス、大きい子は園庭と分れて遊べるようになっている。
- ・園庭が狭く、車通りが多い道路に面しているので不安。

### 問6 園と保護者との連携・交流について

- ・適切な解答をいただけるので、色々と相談してします。
- ・個別面談には柔軟に対応していただき、ありがたく感じている。懇談会はもう少しあっても良いかも。
- ・対応は話を聞くが基本で、具体的な対応は限られている印象。

### 問7 職員の対応について

- ・愛情をもち接しています。おこる時は真剣に！慰めるときは、全身で抱きしめ！子どもにもよく伝わります。
- ・知識、経験がしっかりあるので、安心して任せられる。
- ・要望に対応してもらえない。

### 保育園への意見や要望

- ・働く保護者への負担が最少限に抑えられていてとても助かっている。他クラスの先生方も、子供の名前を良く覚えていて、目が行き届いているように感じる。
- ・いつも子どもを温かく見守って育てていただいて、感謝しています。子どもにも保護者にも優しく、とてもいい園です。
- ・発熱時の対応方法が、不十分だった。睡眠と発育に関しても、専門的な視点が乏しい印象がある。

## ■ 保育園に通っているこどもについて(保育園に2人以上通っている場合は、下のこども)

0歳児クラス	1歳児クラス	2歳児クラス	3歳児クラス	4歳児クラス	5歳児クラス
6	10	8	8	7	7
13%	22%	17%	17%	15%	15%

## 利用者本人調査の結果

調査の概況
調査対象:2016年1月12、13日、登園の子どもを対象としました。 調査方法:観察方式で実施しました。観察は、2人の調査評価者が、それぞれクラスを訪問し、保育状況を観察しました。調査評価者の1人は、電車見学に同行し、途中や行く先での子どもの動きや表情を観察しました。なお、聞き取り調査は、準備が整わず実施しませんでした。
保育の様子・こどもの様子等結果の特徴
0歳児組
0歳児の部屋で、2人の職員と6人の子どもが、ブロックを積み上げたり、木製のアヒルのおもちゃをカラカラと引っ張って歩いたり、職員に抱かれて「いないいないばあ」をして遊んでいます。保育室は、2つのスペースに分けられています。遊びの様子を見て、1人の職員が2人の子どもをもう一つのスペースに誘って遊び始めました。お座りしている子どもに、職員が、「○○ちゃん、ほ～ら」とミルクの空缶に鎖の形のおもちゃをじゃらじゃらじゃらと入れてみせます。子どもはそれをまねて、入れては出し、入れては出し1人で遊び始めました。叩いて音も楽しんでます。職員は、もう1人の子どもに絵本を読んで話かけながら、その子どもを見守っていました。もう一方のスペースでは、牛乳パックで作った低い2段の踏み台を上ったり下りたりして遊ぶ子ども、マットの上で寝転んだりして遊ぶ子どもがいます。職員は、おまごとの相手をしながら、活発に動き回る子どもを見守っていました。子どもの様子を見て、遊ぶ環境に気を配っています。
1歳児組
散歩で電車を見に行きました。目的地まで片道約30分のコースです。歩く時のお約束をして、職員3人、子ども12人(うち4人がカート)で出発しました。「クレーン車」、「わ～高い」と子ども、職員が「夜電気付けるでしょ。その線直す高所作業車。電線、大きいね」と応じています。霜に気づいた職員が「葉っぱ白くなってる」と腰を屈めて子どもと一緒に触ります。「氷だね、寒いからついたんだね」子どもは不思議そうな表情です。「あ、ヘリコプター」と一人の子どもが気づき「わ～わ～わ～」と皆、大喜びです。「見て、雲、雲、渦巻き雲、ふかふか」「あ、飛行機」「あ、みかん」と発見しては声を上げます。「ショベルカーだ」職員が「そうだね。工事してるね」と応えると、子どもが「がんばって～がんばって～」と声かけします。青砥公園のフェンスの外で「今日はここで電車をみま～す」電車が近づく音がします。「来た～。行った～」あつという間の出来事です。次の電車を待ちながら「○○君飛行機食べちゃった」と、職員が言うと、「あ～あ～あ～」みんな一斉に大きな声を出し、次々に「雲食べたよ」「まだあるよ。」と空に向かって手をのびし、みんなであ～んと雲を食べるまねをします。「次の電車見たら帰ろうね。」と約束しました。帰り道は、なかなか手をつなぎながらいない子ども、歩きが止まってしまう子どもがいました。「○○ちゃんがお手々つなぎたいんだって」「きょうのお昼ごはんスパゲティだって」などと話しかけます。子どもが動き出すまでじっくり待って出発。職員は、子どもの発見を言葉にして共感したり、気づきを促す声かけをしていました。子どもの意思を大切に待つ姿が見られました。
2歳児組
登園してきた子どもは、自分で、コップ、タオルなどをリュックから取り出し、所定の場所に置き、リュックもしまします。2歳児は自分で荷物の整理を始めて間もないので、4、5歳児が手伝いに来てくれています。手伝ってもらって子どもは嬉しそうです。先に登園した2人の子どもが机に向い合って座りブロックで遊んでいます。それぞれ夢中になってブロックを組み合わせてつなげています。時々何やら楽しそうに会話をしています。「恐竜なの。強いの。」いろいろな色を使ってどんどん大きな恐竜になっていきました。もう一人は「○○の電車なの」と。形ができると二人とも「やった～」という表情をしていました。その様子を職員は見守りながら、登園してきた子どもの援助をしています。脱いで裏返しになったコートを直している子どもがいます。次は、ファスナーがなかなかうまくはめられません。それまで見守っていた職員が「ちょっとだけお手伝いしていい？」と声かけし、「うん」とうなづくのを確認して手を貸しました。職員は子どもの自主性を大切にしながら援助しています。

### 3歳児組

一つのテーブルを囲んで5人が仲良く粘土遊びをしていました。手で粘土をこね、お餅や団子、アイスクリームなどを作って職員に見せていました。また、磁石のブロックで大きな葉っぱ模様を作ったり、ブロックで家を作ったりして、2人共同で作る場合もありました。壁に50音図のボードが貼ってあり、1人の子どもが「あ」を指さして「これは何でしょう」と集まった5人ぐらいの子供に問いかけて、アヒルの「あ」と答えた時は「ピンポン」と答え、はずれたときは「ブー」と言って楽しく遊んでいました。職員は、子どもの動きが激しくなった時は、他の子供とぶつからないようにやさしく言葉をかけながら、全体を見守っていました。

### 4歳児組

電車で遊んでいる子どもがいました。線路の上を手で押しながら始発駅から終点駅まで何回も繰り返していました。ときには脱線させたり、音の出る電車を走らせたり、4つの長い連結電車をつくり、2人で仲良く遊んでいました。また好きな絵本を見ている子どももいました。さらにカルタをつくっている子どももいました。自分の名前の文字を一つずつ紙に書き、切り抜いていました。それぞれの文字と絵を連想させてシートに糊づけしていました。職員は、やさしく糊づけの方法を教えていました。「糊は真ん中よりは、周辺の方がしっかり糊づけができるよ」と声かけをして、子どもたちは笑顔でうなずいていました。

### 5歳児組

ガラスのピースを積み上げて遊んでいる子どもがいました。高さは1メートル近くの高さまで積み上げ発射台にのっているロケットのような形をしていました。3,4人の子どもが集まって、そのロケットを抱えながら「どどーん」と言っでは自分がロケット弾になって飛び出し、何回も交代して遊んでいました。さらに、ダルマさんの「はりえ」で遊んでいる子どもがいました。台紙に貼る「だるま」の絵を描き、恐竜の尻尾を作っていました。職員は、「だるま」の鬚を見て、「ひげがはえてきましたね」とやさしく見守っていました。食事をしながら、動物の鳴き声をまねたり、友達と楽しく話をしていました。犬や猫、鳥、牛、ライオン等いろいろな動物の鳴き声を聞くことができました。